

User Report

ユーザーレポート

～0の証明～

総合物流

株式会社日硝ハイウエー

「安全」であることと同時に「働きやすい環境」づくりも これからの事業拡大には欠かせない視点だと思います

大手建材メーカーの拠点間物流から地元企業の近郊配送まで、多彩な運送事業を展開する日硝ハイウエー。同社では早期から情報システムを活用した体制革新に取り組み、2014年からはTenko-PROを活用いただいています。今回はその導入効果や今後の展望を伺いました。

ご利用機器

ALC-PRO II Tenko PRO

**安全への
大原則** 「0.00」を記録として必ず残す
全拠点共通のルールを徹底

西：当社には現在、全部で25の事業所があり、取引先からの信頼を高めるため、積極的にGマーク取得に取り組んでいます。すでに13事業所が取得し、そのうちの9事業所がTenko-PROを使ったIT点呼（ALC-PRO IIを使ったアルコールチェックを含む）を行なっています。

実はそれ以前にも、例えば通信衛星を使った情報共有やオンラインネットワークによるフリートマネジメントシステムを導入してきた経緯があります。そうした背景もあったおかげで、従業員のIT機器アレルギーはほとんどなく、Tenko-PRO導入初期も極めてスムーズに現場で受け入れられました。ただ、機器に対する抵抗感はなくとも、ドライバーの飲酒に対する意識は、大きく変わりましたね。当社ではALC-PRO IIの測定結果＝0.00mg/lを記録として残さないと出発できないルールにしていますし、もしそれ以外の結果が出たら、すぐに私たちの部署の端末に自動でアラートが出ます。ですのでドライバー本人への意識づけが高まっただけでなく、拠点の所長や運行管理者も日頃からの指導を徹底するようになりました。

本来であれば全拠点にこうしたIT点呼を導入したいところですが、Gマーク取得済みの残りの4事業所は、倉庫併設型で完全な無人化が難しいなど、完全導入には至っておりません。とはいえALC-PRO IIを使って「0.00」を残すというルールは全拠点共通で徹底していますので、IT点呼を導入していない拠点でも、安全厳守の体制は同じです。

取材ご協力

株式会社日硝ハイウエー

安全・環境対策室長 土屋 忠司 様

安全・環境対策室 室長代行 西 幸一 様

〒514-1138
三重県津市戸木町4857-13
TEL 059-254-5900 FAX 059-254-4788



今後の展開 職場の信頼関係を保ちつつ
新しい取り組みの成果を全拠点へ

土屋：私は以前、荷主側の立場で運送会社との協力体制構築を進めてきた経験があり、その視点でお話すると「適度な規模と小回りの効く対応力・提案力」が当社の強みだと思います。一方で、従業員の業務負担は増しており、人材不足も深刻。その打開策の一つとして、当社ではドライバー全員にタブレット端末を貸与し、業務管理を一台で完結できるシステムの試験運用を始めました。ドライバーは画面上で日々の予定を確認し、荷積地・荷降地での作業完了時にボタンをタップするだけで、運行管理者と情報を共有。帰車後も最小限の入力で日報作成まで終わらせるようにしています。

西：また、並行して取り組んでいるインカメラ付ドラレコへの刷新にも手応えを感じています。見られている気恥ずかしさから、初めのうちは指差し・声出し確認をためらっていたドライバーも、他の人が実行している映像を見て次第にやるようになり、安全向上につながっていますから。

土屋：こうした成果を全拠点に浸透させていくことが、次の安全・環境対策室の課題ですね。仕組みを作ることは私たちにできても、それを実行するのは現場。お仕着せではなく自分たちの意志で動けるようになったとき、初めて真の強みになるのでしょうか。また、システム化を進めると、社員間のコミュニケーションが希薄にならないかという危惧もあります。ですので、効率だけに目を奪われず社内の信頼関係をいかに深めていくかという視点も、忘れてはならないと思っています。



取材後記 日硝ハイウエーでは、長距離だけでなく、近場で定時運行できる配送業務も多い特徴を生かし、女性ドライバーの採用・育成にも積極的に取り組んでいるとのこと。免許取得支援や入社祝金制度なども取り入れ、着実に実績を積み上げているようだ。

※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。